

掲載時期	内容
平成23年11月1日 ~ 平成23年12月29日	<p>「仲間が一つになってそれぞれが不動の心によって事に当たる時、不可能が可能になります。」「東日本大震災によって株価が200円台で低迷し、空売りが異常に膨らみ、兼松日産農林のときと同じように大相場になる雲行きを呈してきた銘柄があります。何百万株という空売り残を抱えたその200円台の銘柄のマグマが爆発するのはいつか?」「『空売り残の異常な膨らみ』という共通点の下、『昨日の今』阪神大震災後における当時の兼松日産農林と同じ軌跡を、『今日の今』東日本大震災後のその200円台の銘柄が『明日の今』に向かって歩もうとしているかのように私には感じ取れます。」「私達は天が与えてくれた恩寵の中にいるのです。」「将来の出世株たるその銘柄を『未来の今』1300円で売って実際に莫大な利益を得た人だけが天から合格証を与えられます。」「240万株を超える空売りが隠れていると想定できます。」</p> <p>「200円台で数百万株という膨大な空売り残を抱えているだけに、『遠くをはかる者は富み』と尊徳の箴言にあるように、『天の時』・『地の利』・『人の和』が一つとなったその時より、空売りの踏み上げ相場が始まるような気がします。」「○○○○○は、200円台にあった株価が4.5倍以上の930円という高値を付けました。現在も相場は続いており、いつ930円の高値を抜くかが注目されます。」「大阪証券金融での400万株の空売り残に加えて、来年3月には250万株以上の『隠れた空売り』の期日が到来します。そのため、この株式のヤマ場は既に述べた通り来年の3月であると考えるのが妥当であると思います。」</p>
平成24年4月17日	<p>「先細りの株式市場にあって、『買い』で取れた数少ない銘柄として、2011年11月1日、『時々の鐘の音』のコラム『再びの邂逅』の中で触れた200円台の銘柄、コード番号：4406000000があります。本銘柄は2012年3月2日に1,297円という高値を付けました。買いで1,000円幅が取れた銘柄として大いに脚光を浴びたことには、まさしく天の恩恵を感じざるを得ません。」「2012年4月16日引け値409円、コード番号：8103000000は今年の出世株として大いなる輝きを放つかも知れません。1,000円幅は勿論のこと、何年振りかにも出現するであろう、『兼松日産農林』のような大相場に発展する可能性も大いにあり得る、と私には思えてなりません。」</p> <p>「隠れた空売り残も相当数が既に積み上がっていることが窺えますから、今後の取り組み次第では空売りの大踏み上げ相場に発展する可能性も大いに有り得ます。」「現在の株価の水準があまりにも低すぎる○○○○は、現物で買って長期に保有するのに最適の銘柄と言えます。今後、兼松日産農林のような大相場に発展する予感がしています。」「売買益を得るのに50円から100円幅ではなく、しっかりと1,000円幅、2,000円幅、3,000円幅がとれる株式投資が実現することが望まれます。8103000000は兼松日産農林のような大相場に発展する可能性があるだけに、二宮尊徳の言う『遠くを計る者』が数多く加われば今年の出世株に育つ可能性は大きいと思います。」</p>